



教育機関向け Apple Developer Program 登録料の免除

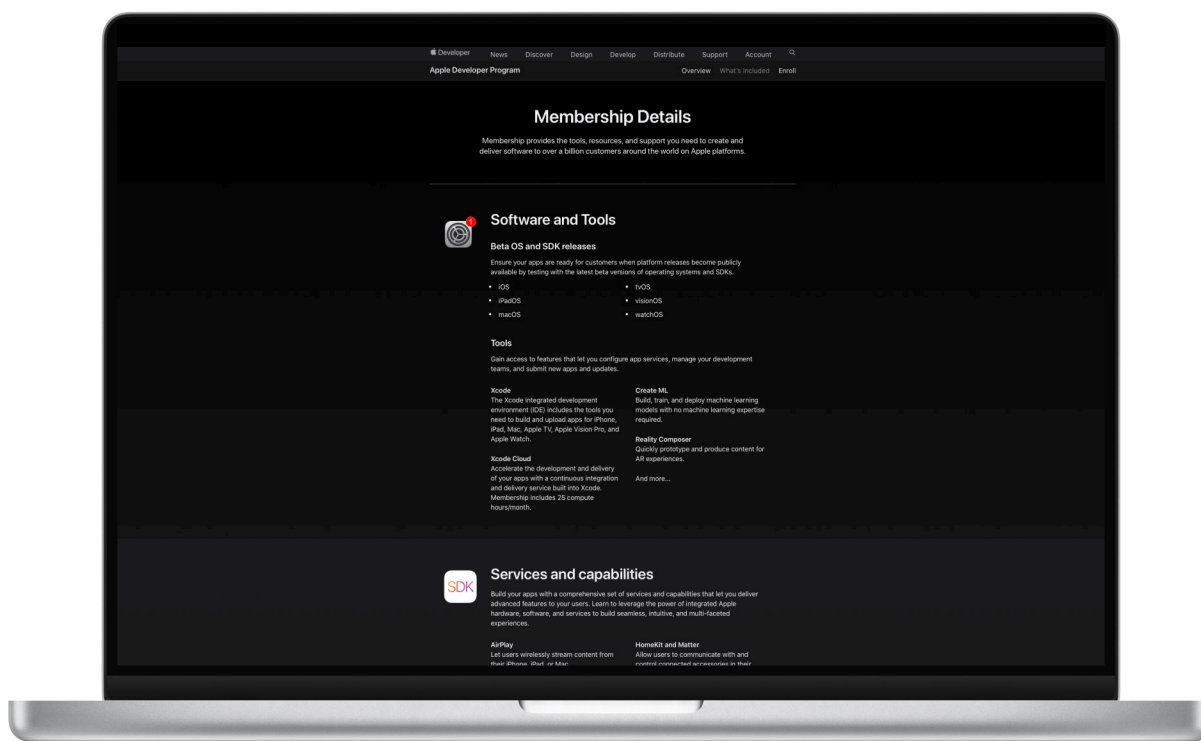
アプリ開発のキャリアを目指す学生たちのために、最適な学習環境を提供しやすくなりました。教育機関として認定されていれば、Apple Developer Programの登録料が免除対象となり、無料になります。iPhone、iPad、Mac、Apple Watch、Apple TV、Apple Vision Pro向けの魅力的なアプリを学生たちが開発できるよう支援しましょう。

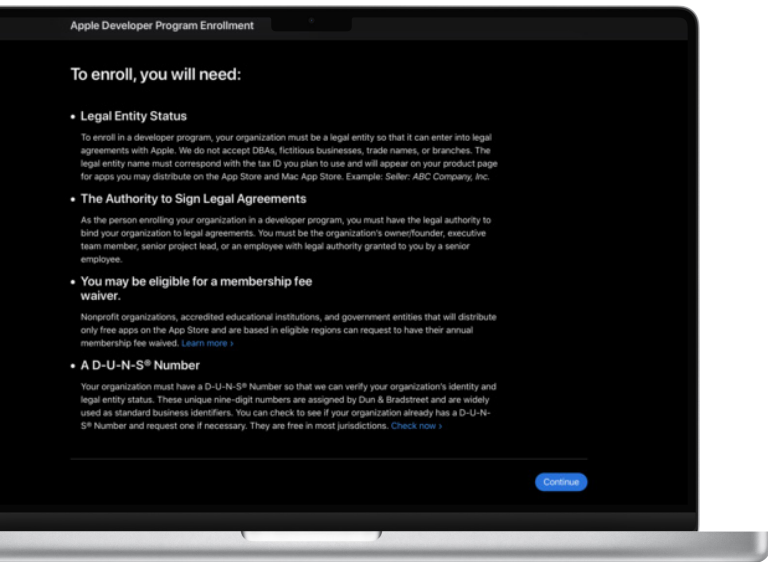


Apple Developer Programとは？

学生たちはプロのデベロッパと同じリソースを使って、アプリ開発を学びスキルを磨くことができます。Apple Developer Programを導入すれば、アプリの開発やテストにTestFlight、ARKit、SiriKit、MusicKit、その他のデベロッパ向けツールを活用でき、学生たちがiPhone、iPad、Mac、Apple Watch、Apple TV、Apple Vision Pro向けに素晴らしいアプリを開発して学びを深めるのを支援することができます。

さらに詳しく：developer.apple.com/jp/programs/whats-included





1

Apple Developer Programに登録する

教育機関として行政から認定を受けていれば、

Apple Developer Programに[オンライン](#)で無料で登録できます。

登録時に、法人の種類として「認定を受けた教育機関」を選択してください。

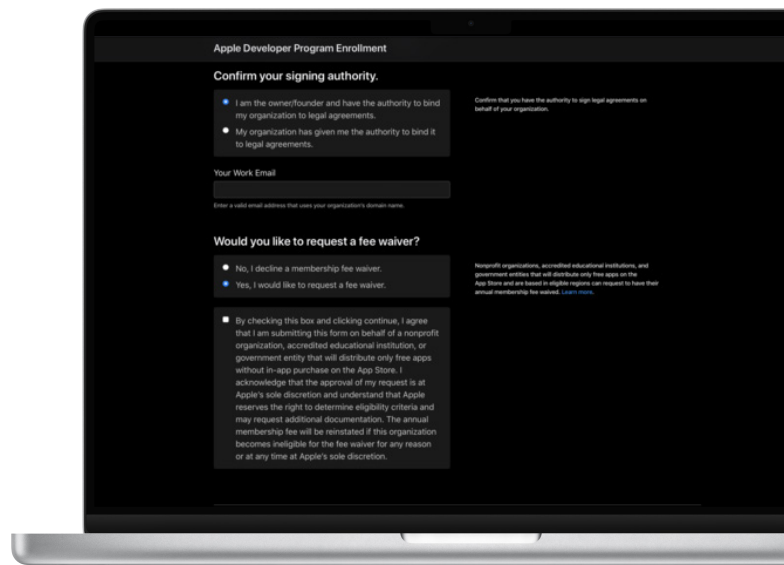
今すぐ登録する : developer.apple.com/programs/jp/enroll

2

必要な情報を準備する

Apple Developer Programに登録するには、所在地で法人として認定され、D-U-N-S番号が付与されている必要があります。

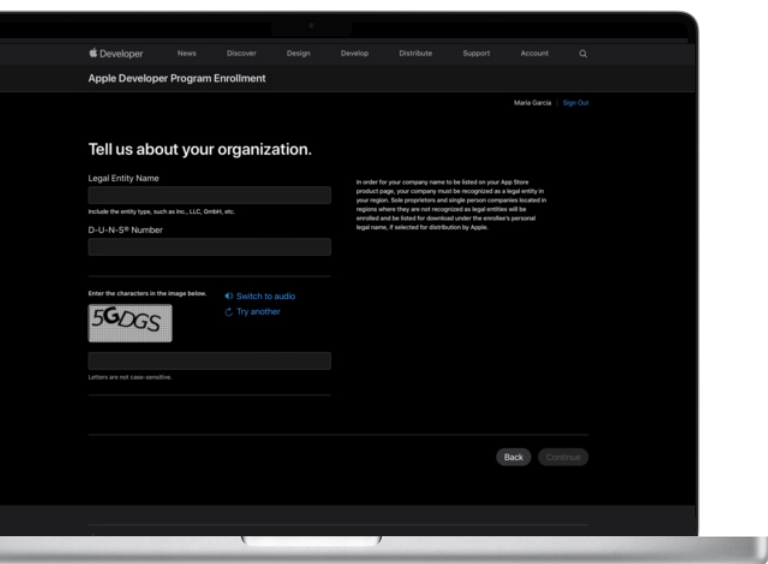
D-U-N-S番号についてさらに詳しく :
developer.apple.com/jp/support/D-U-N-S



3

登録料の免除を申請する

登録料の免除を受けるには、学習を目的とし、アプリ内課金のない[無料アプリ](#)のみを配信することが条件となります。登録の申請時に、「はい、メンバーシップ登録料の免除を申請します。」を必ず選択してください。申請が承認されると、Apple Developer Program使用許諾契約への同意を求めるEメールが届きます。同意するとプログラムを利用できるようになり、アプリ開発のチームを立ち上げることができます。



Apple Developer Program

役割について

所属する教育機関が、登録料の免除を受けてApple Developer Programに登録されると、Account Holderとしてデベロッパチームを管理できるようになります。Account Holderは、アプリのテストを行うTestFlightなど様々なツールを備えたApp Store Connectに、学生や教職員を招待することができます。



役割の管理

デベロッパチームのメンバーに特定の役割を割り当てることで、メンバーシップに含まれる各種デベロッパツールへのアクセス権を管理できます。教育機関ごとに、各種の役割で構成されるチームを1つ持つことができます。役割によって、App Store ConnectやApple Developerウェブサイトのどのセクションにアクセスできるか、また、どのタスクの実行権限があるかが決まっています。教育機関向けのユーザーの役割は以下の通りです。

所属する教育機関のアカウント情報を編集するには、developer.apple.com/jp/contactまでお問い合わせください。

	Account Holder	Admin	App Manager	Developer
イベントへの参加資格と追加特典の対象	✓	✓	✓	✓
コードレベルのサポートリクエストの提出とクレジットの購入	✓	✓	✓	✓
ベータ版ソフトウェアのダウンロード	✓	✓	✓	✓
Apple Developer Forumへの投稿	✓	✓	✓	✓
法的な契約の締結	✓			
メンバーシップの更新	✓			
証明書署名リクエストの提出	✓	✓	⊙	⊙
開発用証明書の作成と無効化	✓	✓	⊙	⊙
配布用証明書の作成と無効化	✓	✓	⊙	
Developer ID証明書の作成	✓			
その他の証明書の作成	✓	✓	⊙	
クラウド管理対象Developer ID証明書の作成	✓	✓		
その他のクラウド管理対象証明書の作成	✓	✓	✓	✓
開発用プロビジョニングプロファイルの作成	✓	✓	⊙	①
開発用プロビジョニングプロファイルの削除	✓	✓	⊙	
配布用プロビジョニングプロファイルの作成と削除	✓	✓	⊙	
プロビジョニングプロファイルのダウンロード	✓	✓	⊙	⊙
アプリIDの登録と設定	✓	✓	⊙	①
アプリIDの削除	✓	✓	⊙	
UDIDの追加	✓	✓	⊙	①
UDIDの無効化	✓	✓	⊙	
キーの作成	✓	✓	⊙	
Safari Extension証明書の作成と無効化	✓	✓	⊙	⊙
ソフトウェアの公証	✓	✓	✓	✓

Account Holder

所属する教育機関をこのプログラムに登録したユーザーが、Account Holderになります。この役割のユーザーのみが、法的な契約への署名、メンバーシップの更新、Developer ID証明書の作成をすることができます。Account Holderの役割を持てるのは1人だけです。Account Holderの役割を譲渡する手順については、[サポートページ](#)を参照してください。

Admin

Adminは、「Certificates, Identifiers & Profiles (証明書、ID、プロファイル)」にアクセスして、証明書、ID、プロファイル、UDID、アプリIDなどを管理できます。Adminには、App Store Connectで教育者のみなさんのチームを管理したり、ユーザーを招待したりする教育者の方を割り当てます。詳しくは、App Store Connectヘルプの「[ユーザの追加と編集](#)」を参照してください。

App Manager

コースやクラスを担当する教育者のみなさんには、App Managerを割り当てます。通常は、チームのメンバー(学生)を管理できるよう、各コースを担当する教育者のみなさんにAccount HolderまたはAdminからアクセス権が付与されます。

Developer

チーム内の学生の開発メンバーは、Developerになります。学生の開発メンバーには、Developerの役割のみを割り当てるようにし、Account Holder、Admin、App Managerを割り当てないようにしてください。

- ✓ フルアクセスが付与されます。
- ⊙ App Store Connectの「ユーザとアクセス」で付与される「Certificates, Identifiers & Profiles (証明書、ID、プロファイル)」へのアクセス権が必要です。これにはCloudKit Consoleへのアクセス権も含まれます。
- ✓ App Store Connectの「ユーザとアクセス」で個別の権限として付与されます。「Certificates, Identifiers & Profiles (証明書、ID、プロファイル)」へのアクセス権が必要です。これにはCloudKit Consoleへのアクセス権も含まれます。
- ① Xcodeの自動署名を有効にする必要があります。

デベロッパチームの 立ち上げ

以下のベストプラクティスを参考に、学生たちの
デベロッパチームを立ち上げましょう。



デベロッパチームに学生を追加する

所属する教育機関がApple Developer Programに登録されると、担当するコースの学生をデベロッパチームに追加できるようになります。学生たちは、各自のMacを使ってMac App StoreからXcodeを無料でダウンロードできます。Xcodeには、Appleのあらゆるプラットフォーム向けアプリの開発やテストをするために必要なツールがそろっています。[Xcodeはこちらからダウンロード](#)できます。

以下の手順に沿って、担当するコース向けに学生のデベロッパチームを立ち上げましょう。学生たちは各自のデバイスを使用します。

1. 学生たちに、Xcodeのダウンロード時に使用したApple IDのEメールアドレスを確認します。まだApple IDを持っていない学生は、[こちらから](#)簡単に作成できます。
2. App Store Connectの「ユーザとアクセス」を開き、先ほどのEメールアドレスで学生たちを招待します。役割は「Developer」を選択します。
3. App Store Connectをはじめとするメンバーシップのリソースや特典に、すべての学生がアクセスできるようになります。

詳しくは、App Store Connectヘルプの「[ユーザの追加と編集](#)」を参照してください。Xcodeをラボで使用している場合、または管理対象デバイスを使用している場合は、アクセス権の付与について、所属する教育機関の管理者に確認してください。

注：App Store Connectにサインインするには、2ステップ確認または2ファクタ認証が必要です。[Apple IDアカウント](#)の「セキュリティ」セクション、またはiPhoneまたはiPadの「設定」にある「Apple ID」セクションにアクセスして、アカウントに関連付けられたApple IDの2ステップ確認または2ファクタ認証を有効にしてください。標準ユーザーのセットアップはAdminが行います。標準ユーザーはアプリのインストールや自身の設定の変更はできますが、ユーザーを追加したり、ほかのユーザーの設定を変更したりすることはできません。